



令和5年10月2日開会

関市議会第3回定例会

関市長所信表明

本日、令和5年第3回定例会におきまして、発言の許可をいただきましたこと、心から厚く御礼申し上げます。

私は、このたびの関市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまの温かいご支援を賜り、第7代関市長として市政を担うことになりました。関市のかじ取り役として、市民の皆さまの期待に応えられるよう、市の発展のために全力で市政運営に取り組んでまいります。それでは私の市政に対する所信の一端を述べさせていただきます。

本市は「日本一しあわせなまち」の実現を目指して、これまで人口減少対策や経済の好循環対策など、さまざまな政策を講じてきました。本市がさらなる飛躍を遂げるために、これまで築いてきたしあわせなまちを未来へつなぐ取組を継続していかなければなりません。また、その一方で現状に満足することなく創意工夫によってさらなる改革を進めていく必要もあります。市政のさまざまな分野において、官民一体となって課題を解決し、市民の皆さまが心豊かに暮らせるまちづくりを進めてまいります。そのため、「市民のしあわせを向上し、まちの魅力を高め、未来の関市の発展につなげる」をスローガンに、しあわせを実感できるまちを創るため、3つの視点で政策を講じてまいります。

1つ目は「市民のしあわせ向上」であります。子どもから高齢者に至るまで全ての市民が安心して暮らせるよう、結婚・出産・転入などのライフイベントに対する支援、具体的には結婚新生活支援金やベビチケ事業をはじめ、子育て世帯の暮らしを応援するせきっこ

未来応援券事業を今後も継続して実施します。また、高齢者サロンや通いの場の充実、市内の山歩きウォーキングの奨励など、高齢者の生きがいと健康づくりをより一層推進してまいります。また、市内小中学校の校舎の大規模改修や長寿命化を計画的に進め、安全で快適な教育環境を整備いたします。そして未来を担う子どもたちのために、教育を充実するほか、地域での居場所づくりなどにも力を入れてまいります。

2つ目は「まちの魅力向上」です。若者や女性が活躍できる場や就労機会の確保を促進することで、まち全体の活力を創出してまいります。具体的には、若者や女性が中心となったイベントの開催を支援するほか、みんなの就職サポートセンターや関市ビジネスサポートセンターを活用して若者や女性の就業や起業を支援していきます。また、歩いてめぐれる楽しいまちづくりとして街なかの遊歩道を整備するとともに、せきてらす・関鍛冶伝承館・濃州関所茶屋を改修することで刃物ミュージアム回廊エリアの機能を拡充させ、刃物文化を広く発信して交流人口の増加に努めます。さらに、市内の生活道路の改良や舗装の強化、橋りょうの耐震化などを計画的に進め、より快適なまちを創ってまいります。また一方で弱体化しつつある農林業にも力を注ぎ、新規就業者の確保や認定農業者、組織経営体の強化支援などを充実させます。そして、地域課題の解決を目的とした地域委員会との協働をより進め、誰もが住んでよかったと思えるまちを創造してまいります。

3つ目は「未来の関市の発展」です。本市の重要課題である人口減少対策として、住宅取得に対する助成制度である住まいる*せき応援券事業などを充実させ、移住定住を一層促進していきます。また、交流人口や関係人口の増加を図るために、ふるさと納税などを通して本市に関心を持っていただいた方などに本市の魅力や情報をお届けできるような仕組みを構築したいと考えています。そして、脱炭素社会の実現に向けた環境教育を推進するとともに、デジタル技術を導入して便利で快適な市民サービスの提供を行うなど、市の未来を見据えた対策に力を注ぎます。さらには、せきチケ、せきペイといった地域経済応援プレミアム付商品券事業を継続して物価高騰の対策と地域経済の活性化を図ってまいります。また、公共施設の計画的なスリム化を進めて統合や複合化を行い、維持管理コストの効率化に努めることで、健全な財政運営を維持してまいります。このほか、安心な飲料水を安定的に供給するために、水道施設の老朽化対策と適切な維持管理に努めてまいります。

私は市職員としての約40年間の実務経験と、副市長として市政を担った約4年間の行政経験を生かし、本市のさらなる発展と市民のしあわせ向上を図るため、全身全霊を尽くす所存でございます。市民の暮らしに寄り添った政策を市役所一丸となって展開して、市民の皆さまと一緒にまちを創る「共創のまち」を目指してまいります。

市民の皆さまをはじめ市議会ならびに関係各位のご理解とご支援を改めてお願い申し上げます、市政運営にあたりましての所信の一端の表明とさせていただきます。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。